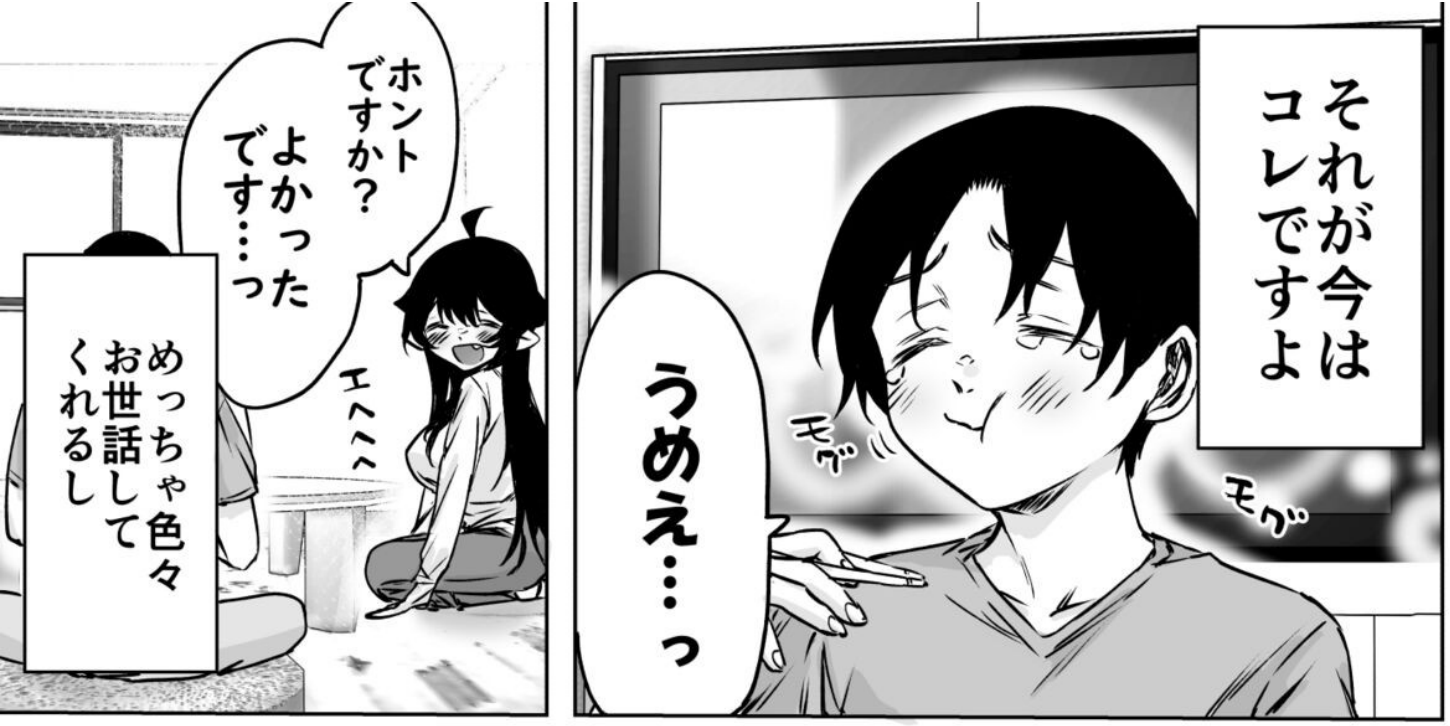
サキュバスと付き合う事になった男は
どんな生活を…
送るのだろうか
勇樹くん
最ッッ
高ですッ!!!!
ど…
どうでしょう
くすぐったかったり
しないですか…？

偶然初めて
出会った時
彼女は
泣いてた

サキュバスとして
無能だと罵られ
家から追放…
仕事にも
ありつけず
泣いていた
ずっと
ずっと独り
だった

俺も
独りぼっち
だったから
つい口に
出てしまった
良かったら
ウチに
来ませんか…!?


それが今はコレですよ
モグ
モグ
うめえ…っ
ホントですか？よかったです…っ
エヘヘ
めっちゃ色々お世話してくれるし

事あるごとにスゲーほめてくれる
エラーズボ

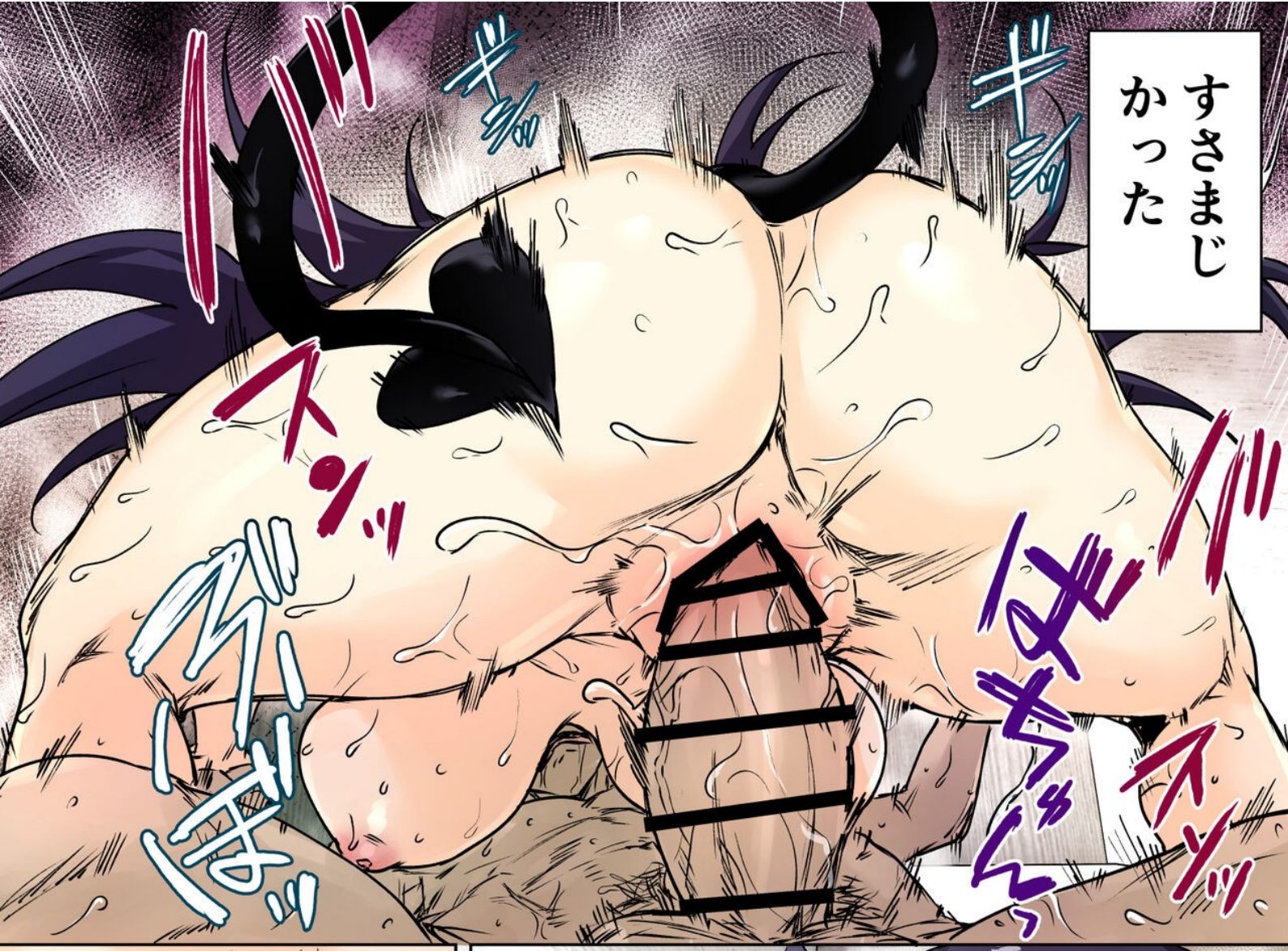
付き合う様になってから
エヘヘ
もみ
もみ
ますます甘やかしてくるようになったし
きっと俺は…
ノノさんがサキュバスじゃなくても
好きになってたんだろうな

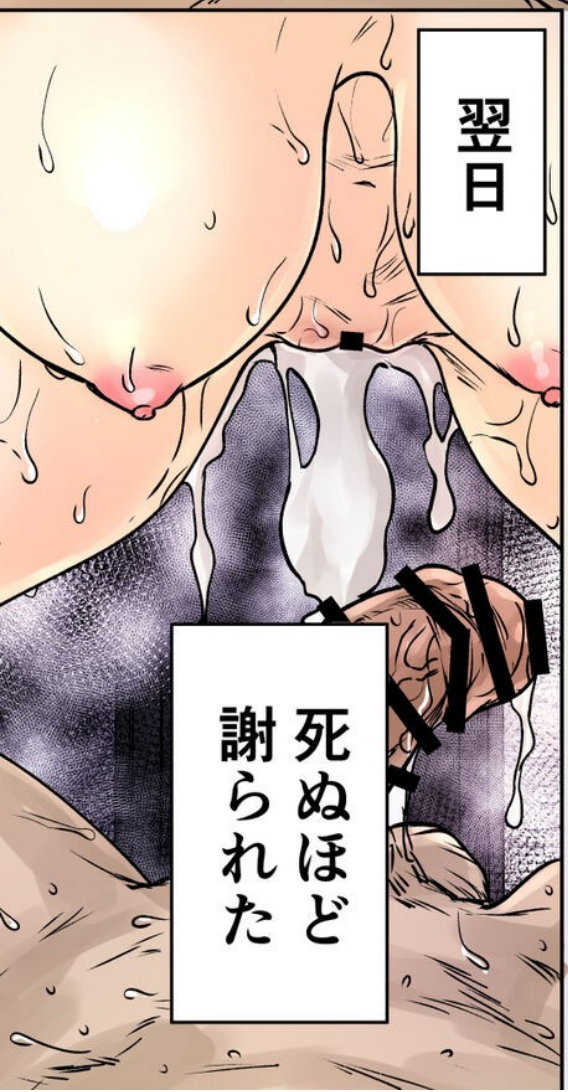
やっぱ訂正で
ぎゅ〜〜
スリスリ♡
ノノさん…っ!?
モジ…

いやこれ…っ
今日はやめとこって…っ
き
かっぱり…今日も一緒が良くて…
サキュバス！

サキュバスでしょ!?
だ…だめ…ですか…？

パンパン
ハッ
ギシッ
あ
ギシッ
ハッ
あっ
ギシッ
ハッ
ゆうきくん
スキッ♡
ぐちゅ
ぬちゅ
ぐちゅ
はるくん
はげしっ
ぐ?
スキッ♡
ビクン


すさまじ
かった
ギッ
ギッ
ズッ
ズボッ
ズッ
ぱちゅん


翌日
死ぬほど
謝られた

ハー…
ハー…
ハー…
スキ♡
気絶するまで
しぼりとられ
ハッ…

どうやら
初恋をした
サキュバスは
強力な本能に
支配され
想い人を
襲ってしまう
らしい
一度結ばれて
しまえば
本能に支配
される事も
無くなる
これで俺達は
いつもの日常に
戻れる
そう…
思っていた
のだが…

無理だった
ゆうきくっ♡
また…あっイッ
あっ
ズポッ
はあっ♡
おっ
…んっ
あっ♡
ズポッ
ぷるんっ
き
今日…も
ハッ
ハッ
ハッ
たくさん♡
頂いてしまいました♡

…最近思い知った事がある
あ、ゆうきくんっ
えへへっ
このサキュバスさんがあまりにえっちすぎるのだ
お帰りなさいっ
お風呂わいてますっ
声も
仕草も
でも…お先にお風呂頂いてしまいましたごめんなさい…っ
これお着がえですっ
ああ！いや全然…
…そう
ガチャッ…
…うっ!?
エッロいのだ
チャポ…っ
ハァ…ハァ…
コレ…ッ
体液までもが…ッ
ビクンッ…
ビクンッ
ビクンッ…
…ンさんッ

勇樹く…
ひぁっ!?
ズン
えっ
ひぅっ
ゆうきくん!?
風呂場で…!
シましたよね!?
コレ…ッどうしてくれるんですか…っ!?
ごめんなさい…っ
ぬりゅ…

ばちゅん
おッ
ごめんなさいッ
ゆるしてッ
なんでこんなにッ
ばちゅん
ばちゅん
ばちゅん
ばちゅん
誘ってるんスカッ…!?
ばちゅん
ばちゅん
ばちゅん
ばちゅん

どくっ
どくんっ
おぉぉ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

同居猫(ミケ)が
一人旅に
出かけたお陰で
どんどん
抑えが効かなく
なってきて
はぁっ
ノノさん
くぷっ
ぬぷっ
ラッ
互いの欲望
に…
ぷは…ごめん
なひゃい…っ
ビクッ
ハ…っ
…っ
ノノさん…
…その
む…
むね…で
！
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ちゅぽ…
はぁ…っ
正直になって
きてる
勇樹くんの
大っきくて…
私のお口に
入らなくてぇ…っ
おっぱいで
はさむやつ
ですねっ!?
ちょっと
お待ち
ください
PA
PA
PA
えっ
いや…
その…

ポフッ
よいしょ～
ボロ…
ブロ…
はい～♡
ブリュるん～♡
どうぞっ♡
ふるるん～♡
エヘヘ…これならおっぱいを使いやすいかと思って
ぜっちょ～大丈夫！！

つっ使うって…！
そんなっ
ふるっ
私は…勇樹くんの彼女ですから…♡
たぷっ
たぷっ
私のおっぱいは今…
勇樹くんだけのモノですから
ドクン
キモチ良くなる為だけにっ
思う存分使ってほしいんです♡
ドクン
ガッ
さんっ
ビクッ
あっ♡
ビクッ
ぐりっ
んっはぁあ♡

おにゅうっ
すっ…すげぇ…
ビクッ
ぷるっ
ぷるっ
ビクッ
んぅ…っ
ぐにっ
すべすべで、ふっわふわで…っ
たぷっ
たぷっ
なのに強くもむと…っ
もみっ
ぐっ
ぐにっ
もみっ
ぐにっ
ちゃんともみごたえもあって…っ
ぶにゅっ
ぶにゅっ
だぷっ
あっ
ビクッ
はぁい
ふぁ…はい
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぐぁぁ
はっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
お

やっぱりノノさんのおっぱい最高っす…!!
…ハァ
ぷるんっ
だ
ぷるんっ
ぷるんっ
ぷるんっ
ハ…ハァ
…あ
ありがとございまふ…ら
ハァ…ハァ
こんな最高のおっぱいなのに…ッ
俺…ッ
ビクッ
ビクッ
本当に…ッ
いいんすね…ッ!?
きっと…加減できねエッすよ…!?
ぷるるるっ
ぷるん
ぷるん…
はい…♡

…お
ぎゅうぅ
ビクッ
ビクッ
はぁお…
みちみち
ぎゅう…
ブルルル…
おっ
おっ
ぎゅう…
ビクン
ビクン
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ

きっ…きもちいい…ですか？
あっ
ぶるんっ
ぱちゅっ
ハッ
わたしの
おっぱいっ
ぶるんっ
ギッ
ズッ
うれしいです…っ
もっと気持ちよくっ
ベチンッベチンッ
ぶるるんっ
ズンッ
だぷんっ
ズンッ
ビクッ
ビクッ
ビク

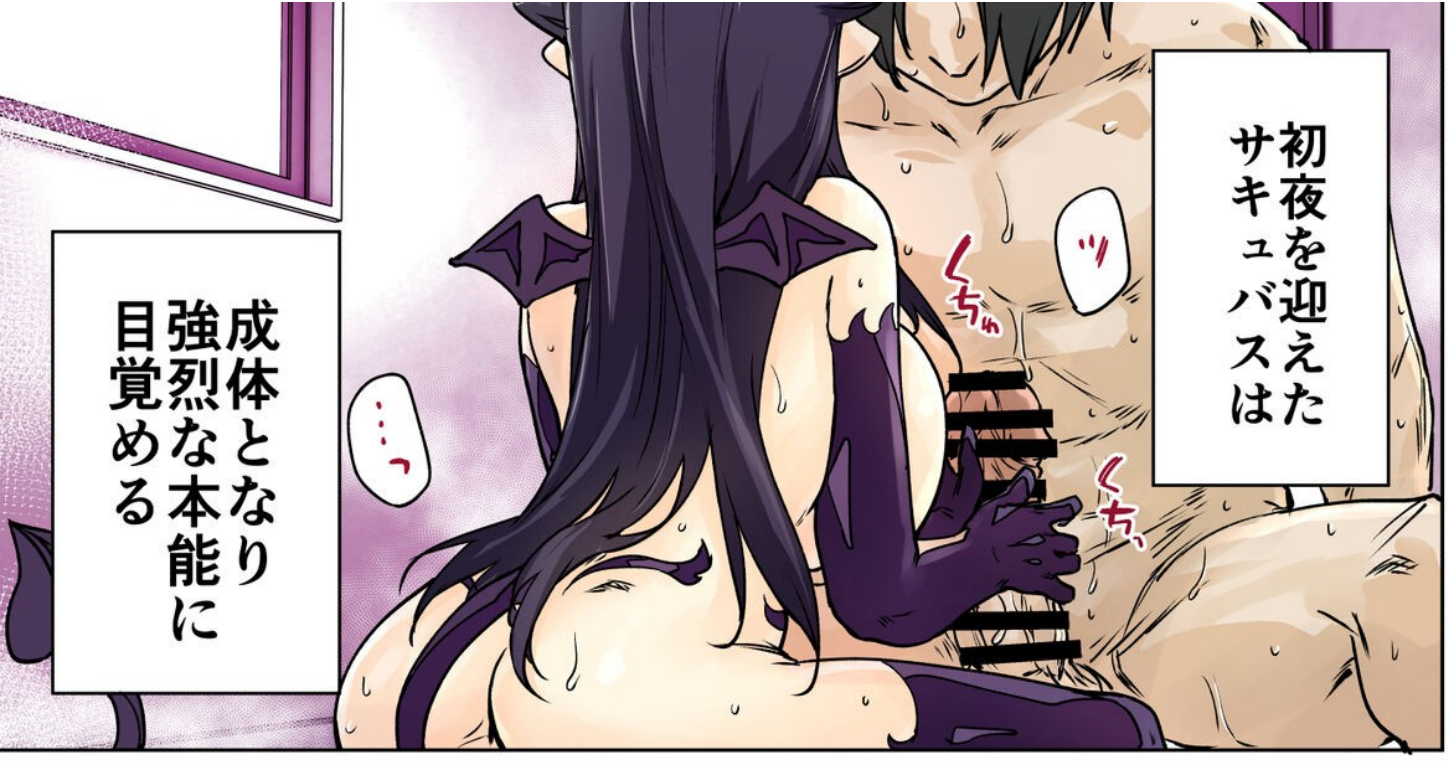
ノノさん…っ
こんなにめちゃくちゃにされてんのに…
必死に
胸突き出して捧げてくれてこんなのッ
エロ…ッ
すぎる…ッ
だろ…ッ

…ビッ
ラッ
びゅーーー…
びゅーーー
ビクッ
ビクッ
ビクッ
おおッ
ビクビクする…」
ビクビク
…ハァ…
ブルルッ
ブルルル…
ヤベェ…チンコがしびれてやがる
…ッ
…ホ…ッ!?
…ハァ…
ホ～…♡
フウフ
ビクビク…」
ビクビク
ちゃぁ～」
ビクビク
ビクビク
しちゅ
…♡
ぬぢゃ…♡
ぬちぬち…♡
ぷちぃ
ぬちゃ…♡
ぬちゃ…♡
…♡
ンンンッ!?

がばっ
ごっ
ごめんなさいっ
ごめんなさいノノさんっ
俺…っ
だっ
大丈夫です…よ？
大丈夫って…そんな…
む…胸に…っ痕が…っ!?
すぐ治りますよっ
勇樹くんにいっぱいっ精をもらったので…エヘヘ
でも痛みが…っ!?
私…気持ち良かったんです
…えっ？
勇樹君が私のおっぱいに…
たくさんあとをつけてくれて…

本当に私のおっぱいが
勇樹君だけのモノになった様な気がして…っ♡
ぷるっ♡
コーフン…
シちゃいました…
…な
なーんて…っ
な…な
折角心配して貰ったのにっ
私っ
ぱよんっ♡ぱっ
なんでそんなエロいんだよ!!
ガばぁっ
ひゃぁあ♡ごっごめんなひゃ

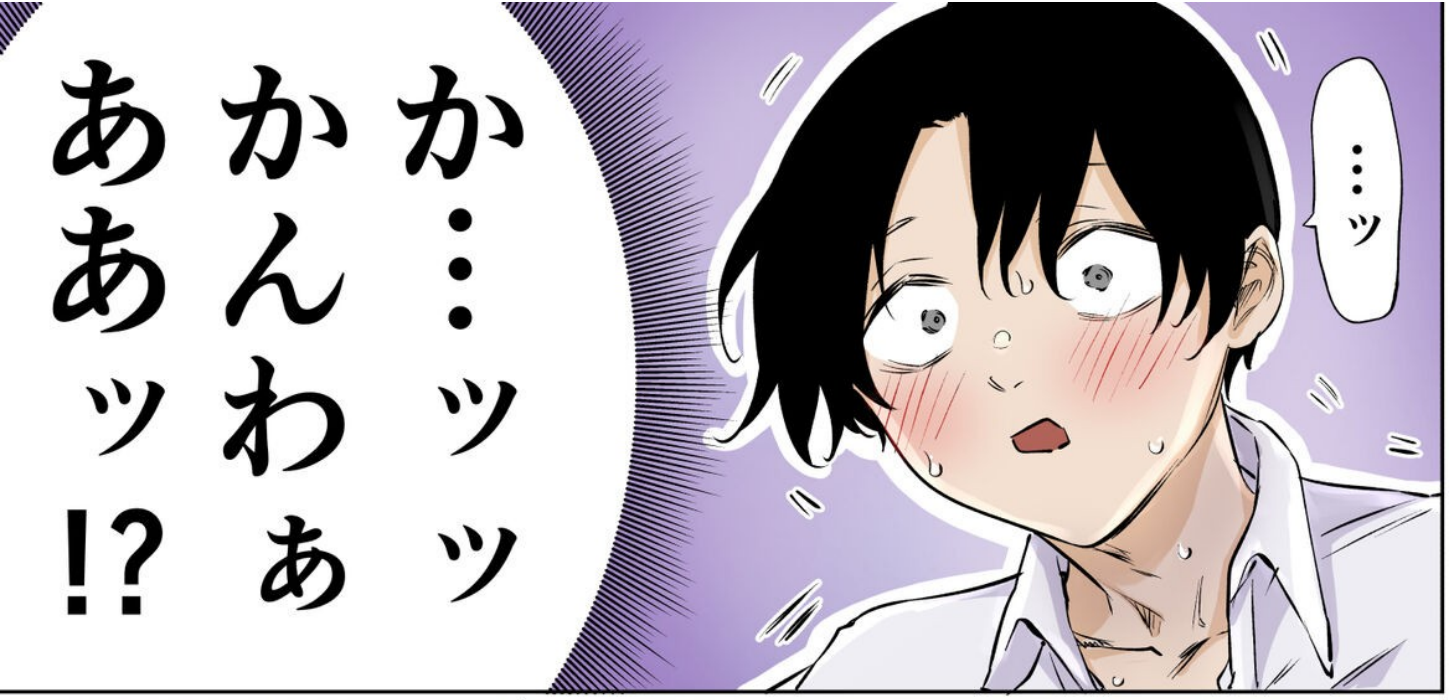
もう一度言う
彼女は
サキュバスだ…！
ど…どうしたんすか？
…ふふ♡
えっと…ですね…っ♡
今日は血が沸わぐ日…
みたいなんです…っ♡


初夜を迎えたサキュバスは
成体となり強烈な本能に目覚める
ッ
くちゅ
くちっ
…っ

——ノノさんの場合は
定期的に血がうずき
エッチすぎるサキュバスになってしまうらしい
ゆうきくんのニオイ♡
だーいすきです…っ♡
ハーっ
ハッ
ハッ
ハッ
クンっ
クンっ

つまり今のノノさんは
ゆうき…くん
今日は…
どんな事しましょうか…♡
じゃあ♡
サキュバスっぽいドエロイ事が出来てしまう
こんなのはどうですか…？
ハーっ
ビクっ
ぬる…っ
ハッ
ビクっ

メゲアアア
…!?
え…
こ…こって
学校…っ!?
ノノさっ
ズズ…
勇樹くん
もじ…
…えへへ


…ッ
か…ッッ
かんわぁ
あぁあッ!?

ボッ
ッ

そそそーゆーコト
思っちゃダメ
ですうっ
ここ淫夢の中
だから丸聞こえ
ですよぉっ!?
あ…

…私と勇樹くんは
年が離れてます
けど…
夢の中なら
こういう事も
出来るかなって

恥ずかしい話
ですけどつい
考えてしまって
…
もし同い年だったら
こうやって…って

私…
こんなに欲張り
だったんだって
初めて
知りました
あの…！
じゃあ…っ
やりたい事
あるんすけど
も…もう
俺の心の中…
聞こえちゃって
ますよね…？
うん…っ
い…っ
行きますよ！
はっ
はいっ

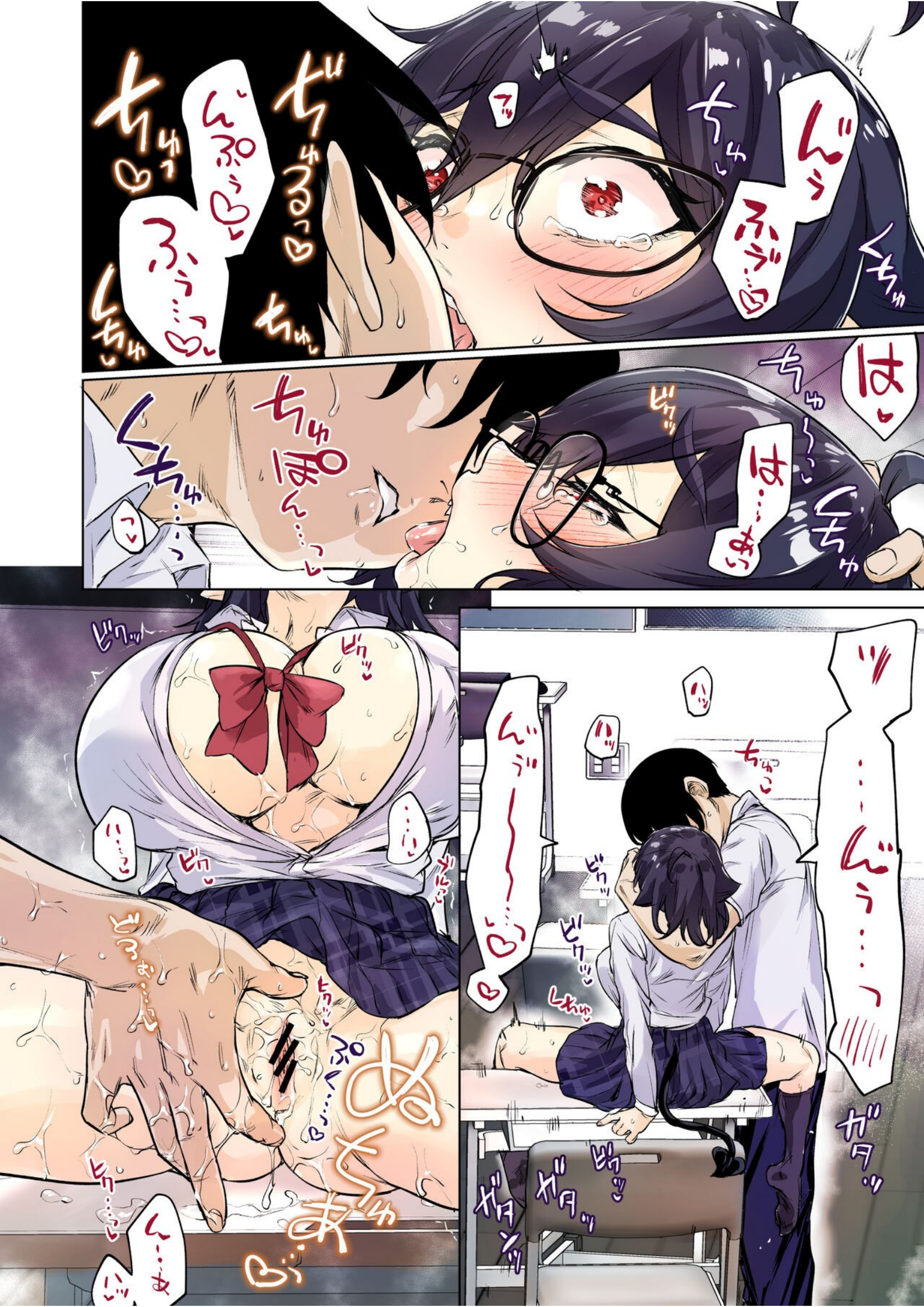
昼闇ノノさん！
貴方の事が好きです！
付き合ってください…！
私もっ勇樹君の事が
大好きですっ！
是非お付き合いしましょう…！

ノノさ
ブッ
ぼろ
…夢ですけど
夢みたいです…っ
ゆ
夢って…っ
たしかにそうっすね！
ハハ
あぁ!?
わ…っ笑わないでくださいよぉっ
ハハ…すっすいませんって！
ノノさ…っ
ドサッ
うわっ
プッ
……
ううっ

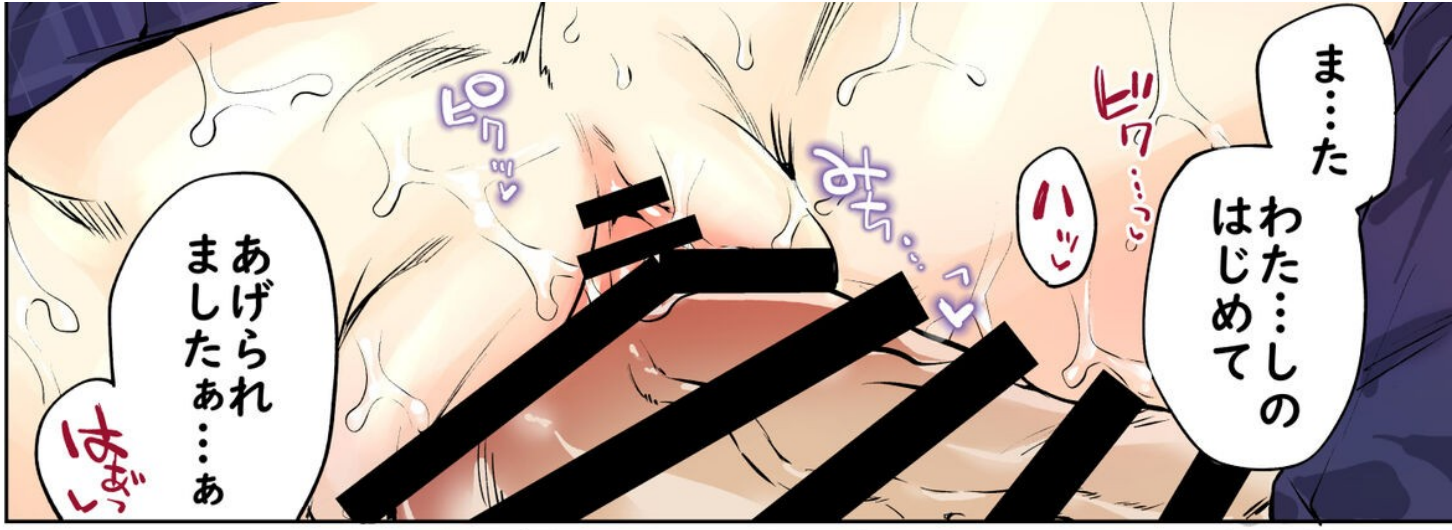
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

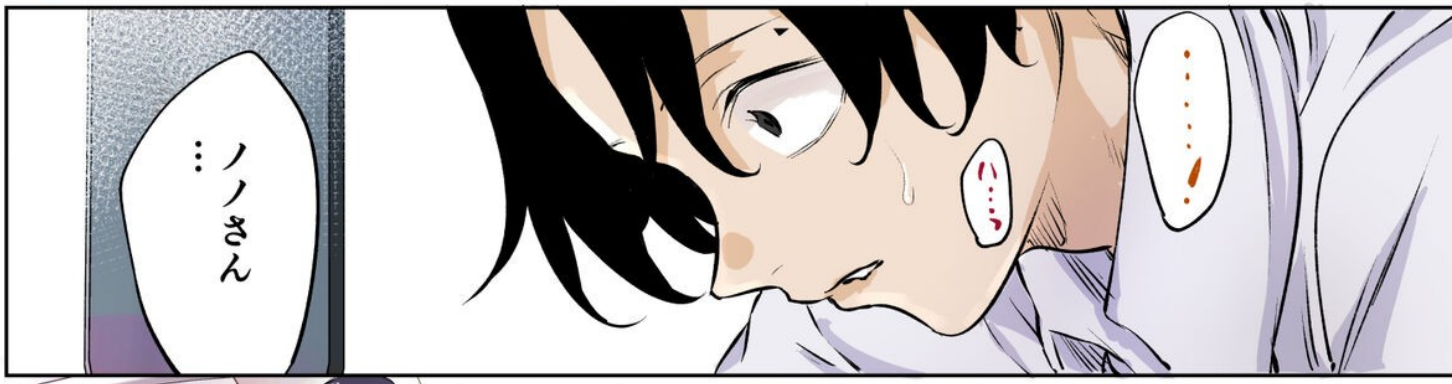
ゆうきくん…
あっ
ビクッ
ビクッ
やぁっ
ビクッ
ガタンッ
ノノさん…
なんで
ぐちゅ
ぐぢゅ
ぐぢゅ
ぐぢ

はぉ♡はぉ
ハ～♡
ビク
ビクッ
ハ～♡
ノノさん
ホンット
ハ…♡
エロイ
ツスねイ
ハッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ガタッ
ガタッ


ぐぅ
ちゅ
ふぅ…♡
くちゅ
ぢゅるっ♡
ちゅ
んぷぅ♡
ちゅ♡
ふぅ…っ♡
くちゅ
は…
ちゅ～っ
ちゅ
は…ぁぃ
ビクッ
ちゅぽんっ
くちゅ…っ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

ハァ…
ヒク…っ
ち…ん
く
ハッ
ハァ…っ
ノノさん
…いきますよ？
ハ…
ぶ…
…
…コク
ビクッ
はっ
おっ♡
おっ
おぉぉ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ま…た
わた…しの
はじめて
ビク…っ
ハッ
ぬち…っ
ピクッ
あげられ
ましたぁ…ぁ
はぁっ


……！
ハ…っ
ノノさん…

乳首がなんか
いつもと…
フーッ
ふるっ…
ツ
フゥ
ふるん
これは…
そのっ
ばっ
ファァ…
むにゅう…
この身体
は…っ
学生の時の
モノですから
…っ

まだ未成熟…な部分があっ
れろっ
ピクッ
めっちゃ可愛いっす
あうぅ
ぐりぐり
ずぽっ
ぐりぐり
ずぽっ
ぐりぐり
ずぽっ
ぐりぐり
ずぽっ
ビクッ
ビクッ
ずんっ
ずんっ
ほじっちゃあ…あっひっ
あっ♡
ふぁ?!
ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ

ん…っ♡
あ…
あっ
あ
ハッ
ハヒッ
ビクッ
ビクビクッ
ビクッ
ビクビクッ
ぐりゅっ
ぐりゅんっ
ぐりゅっ
ぐりゅっ
ぐりゅ

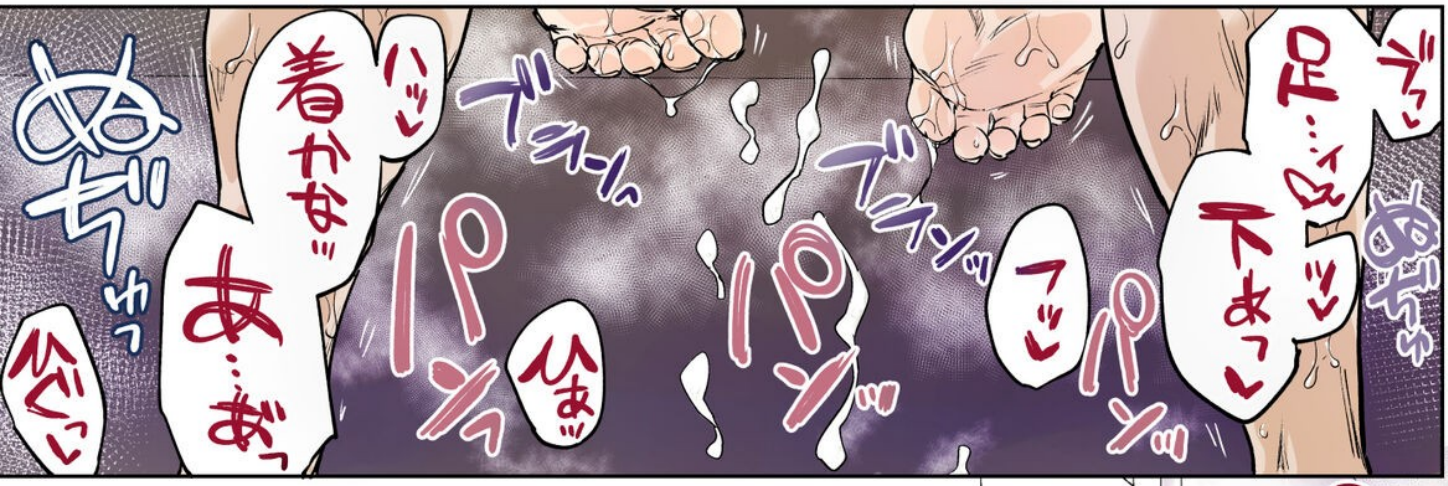
ゆっ
ゆうきくっ
はっ
ビクッ
ぶるんっ
ぶるんっ
ビクッ
こんなぁ…おっ
ぬぷっ
おっ
ぬぷっ
おっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
する…っ
なんて…っ
ぶるんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱ

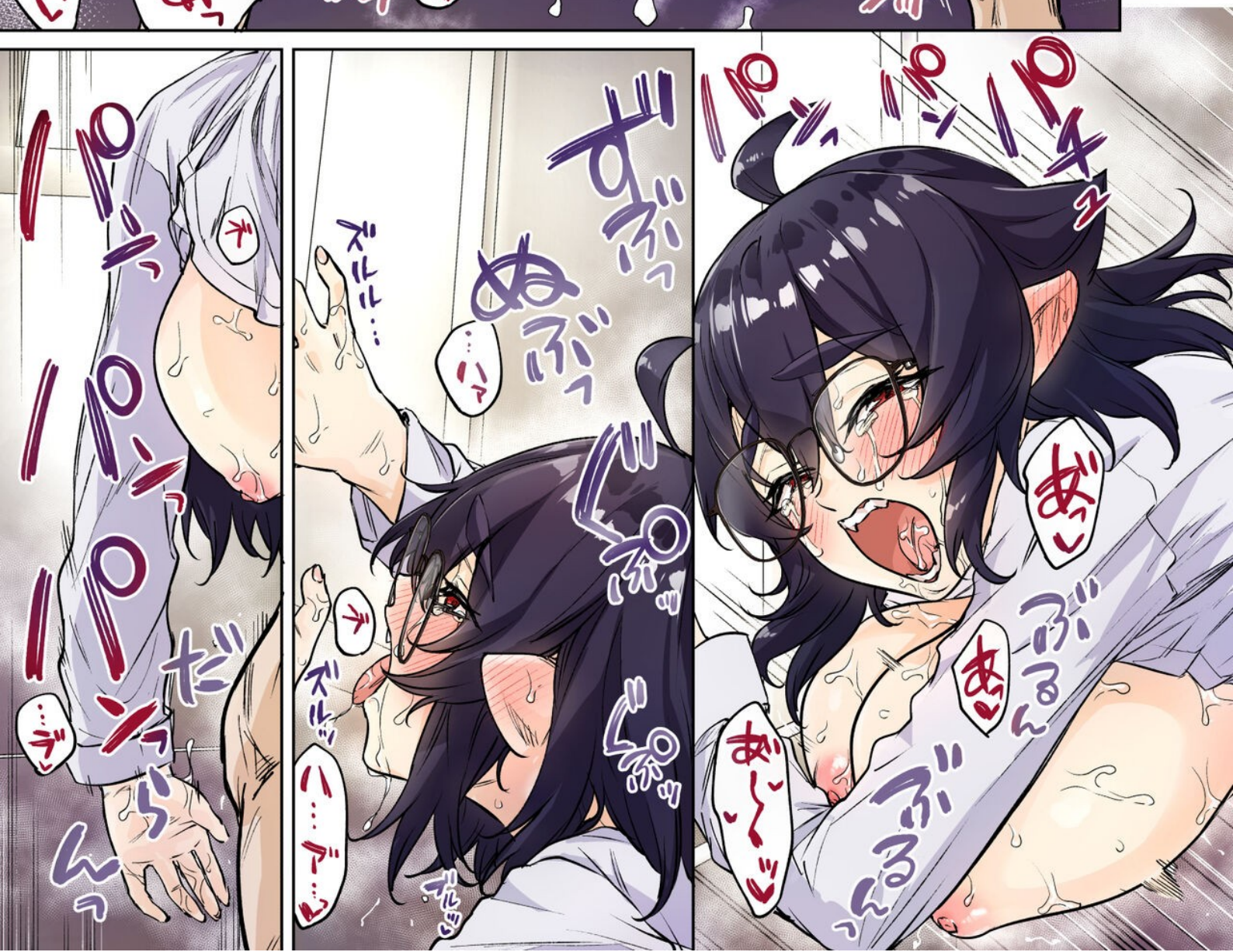
声ッめっちゃ可愛いぞッ
もっと
聞かせてくださいッ
ハッ
あ
ビクッ
ボヨヨン
ボヨヨン
ボヨヨン

ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ

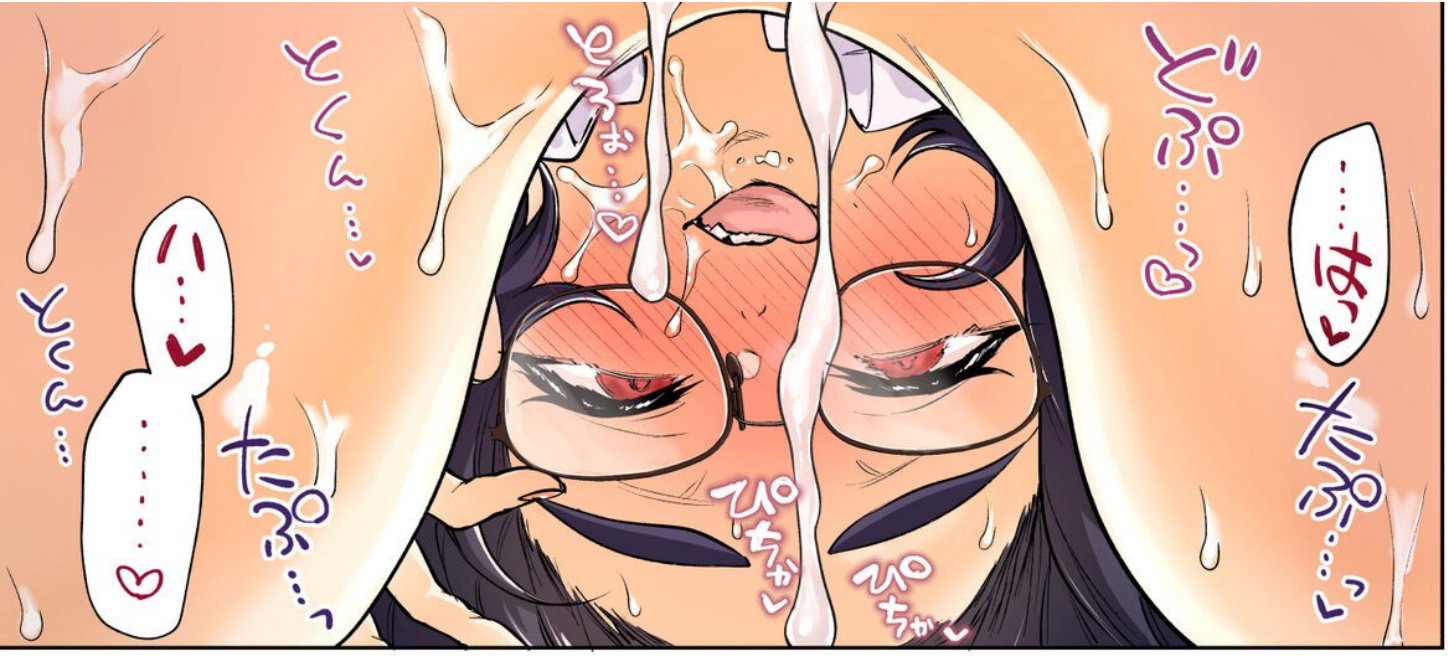
ッ!?
ハァッ
ハァッ
ひゃあ!?
みちっ
ビクビクッ
ボ
ンッ
ンッ
ンッ
メスイキ!?♡
ほ…っ
おぉ…
お腹抱えながらっ
ぬぽっ
トントン
じゅぽっ
ぐぽっ
突くのっ
ダメ♡

じぉおぉ
ーチュッ
ここ
これ…ぇっ
ばちゅ
ぱんっ
ビクッ
ビクッ
パン
アッアーッ
届いちゃダメな
トコまでっ♡
入っちゃう
ううっ♡
ツン
ブラ


ぬぢゅっ
ハッ
着かなッ
あ…おっ
ひぁッ
ブンッ
ブンッ
パン
パン
フッ
ブラ
足…ィ
下あっ
ぬぢゅ


パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
だらんっ
ぶるんっ
ぶるんっ
あっ
あ～ッ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぬぶっ
ずぶっ
ズルル…
ハ…ァ…
ズルッ
ズルッ
ハ…ァ…
ブラ

ビクッ
ビクッ
ビクッ


……ぬ
たぷ…」
どぷ…っ
とろぉ…♡
とくん…
い…
……♡
たぷ…っ
とくん…
ぴちゃ
ぴちゃ

…ハ
あぁ
まあ
屋上で…っ
ハダカでっ
たぁ
はぁ
たぁ
あっ
たぁ
はっ
あっ
ロックッ
ぬぷっ
たぷ
んあっ
あっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
たぷ」
なっ
えっちすぎ
ますぅっ

お…おっ♪
わたひの…
あそこ…が♪
…あ…っ♪
くちゅくちゅ
に…なっちゃう♪
て…えっ♪
ずっと…っ♡
なんど…もぉ♪
イッ…くぇぇ
イッ♡お♪
あんっあんっ
ビクッ
はいっ
ソクッ
ぷるっ
ぐっ
ぐっ
ぬぷっ
くぽっ
ぬぷっ
ぷるっ
ぐっ
ちゅっ
ちゅっ
くちゅ
ぷるっ
ぐっ
ちゅぽっ
ぷちゅ
ぷるっ♡
俺…ギッ
ぐっ
ぐっ
みちみちっ
キヅッ
みちっ
空っぽ…
です…っ
ラヲッ
ハァ…♡
ゆ…っ
ゆうき…
く…ん…♪

…本当に
スキ…です
ハァ…ン
大スキ

ハァ ハァ
あっ♡
ザッ
ハッ
ぬぢゅっ
ぬぢゅっ
ぬぢゅっ
ぐりぃ
おキナぁ♡
ぢっ…♡
み
ぬぢゅっ
ぬぢゅっ